

足守陣屋遺構

河田 健司

【遺跡の位置】



S = 1/25000

【遺跡の概要】

足守陣屋遺構は、岡山市北区足守に位置しています。この付近における人々の営みは縄文時代にさかのぼり、西側の山裾からは縄文土器が採取されています。平安時代の終わりごろにはすでに集落が営まれており、嘉応元年（1169年）に作成された「足守庄絵図」には、現在の足守の町並み周辺に家々が描かれています。また発掘調査でも、鎌倉時代の建物が発見されています。

江戸時代はこの場所に足守藩主木下氏の陣屋町が形成されます。延宝七年～貞享三年（1679年～1686年）に作成された「陣屋町絵図」には、現在の道路とほぼ同じ街路の町並みが描かれています。また「陣屋町絵図」では武家屋敷地の一角として描かれている足守小学校の発掘調査では、良好な武家屋敷の遺構とともに、古九谷様式の皿など17世紀中葉以降の陶磁器類数多くが出土しています。このことから陣屋町は17世紀後半頃には完成していたと考えられます。

陣屋町は近世を通じ足守藩の中心として、近代以降も足守地域の中心として栄えました。現在でも陣屋町の景観をよくとどめており、足守陣屋遺構は近世陣屋町の構造を知る上で、全国的に貴重な都市遺跡であるでしょう。

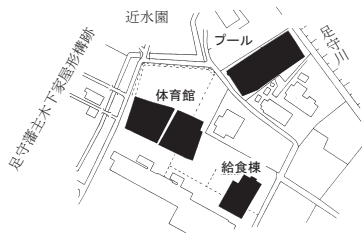
【文献】

岡山市教育委員会 1995 『足守藩武家屋敷跡—足守小学校給食棟、体育館建築事業に伴う発掘調査—』

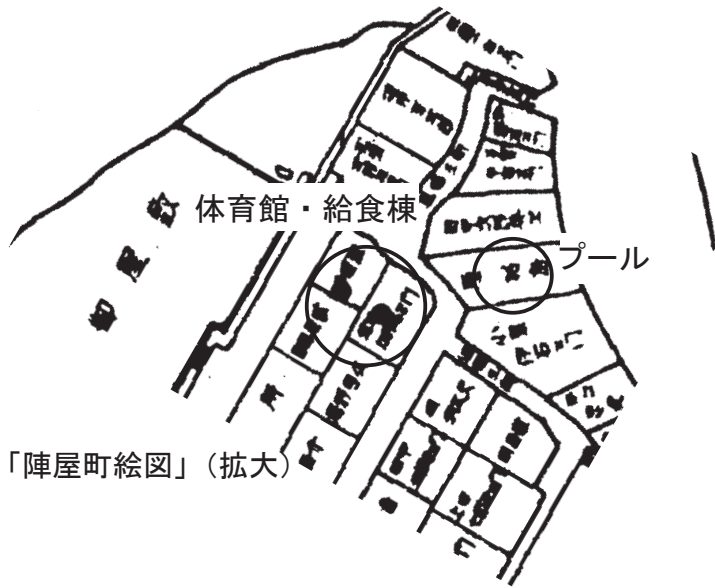
岡山市教育委員会 2001 『足守藩武家屋敷跡・Ⅱ—足守小学校プール建設に伴う発掘調査報告—』

【交通】

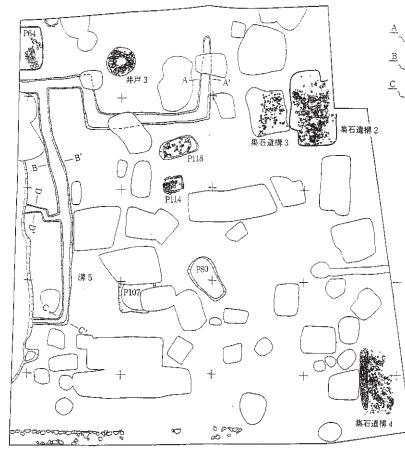
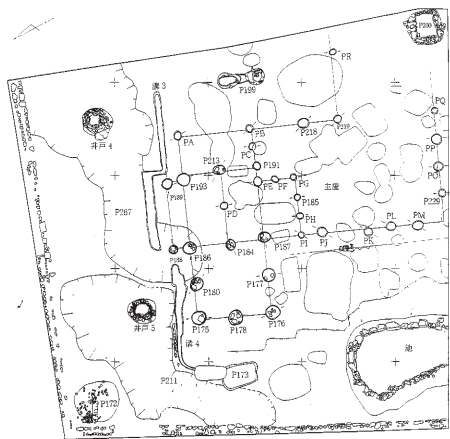
JR吉備線「足守駅」下車徒歩約50分



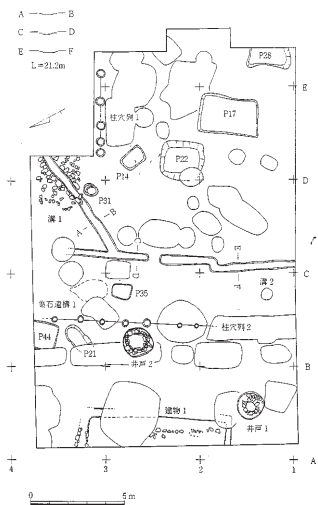
調査区の位置



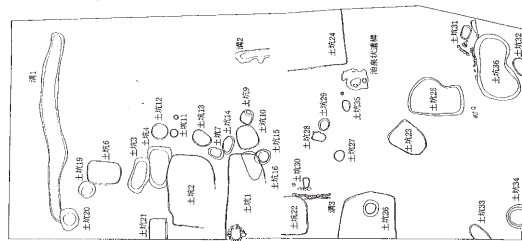
「陣屋町絵図」(拡大)



体育館



給食棟

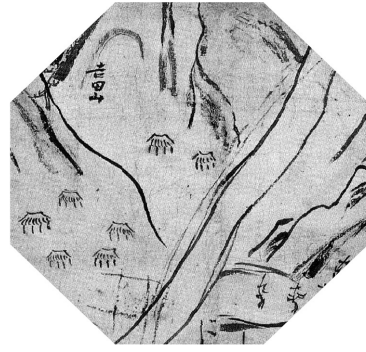


プール

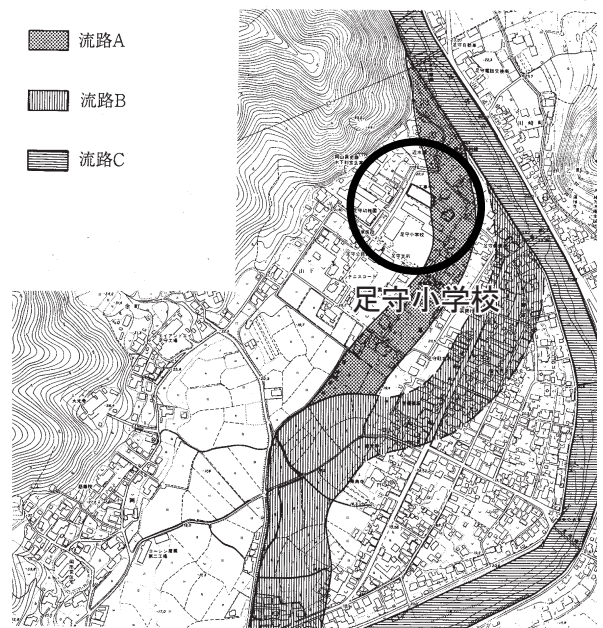
足守小学校の発掘調査 (江戸時代)



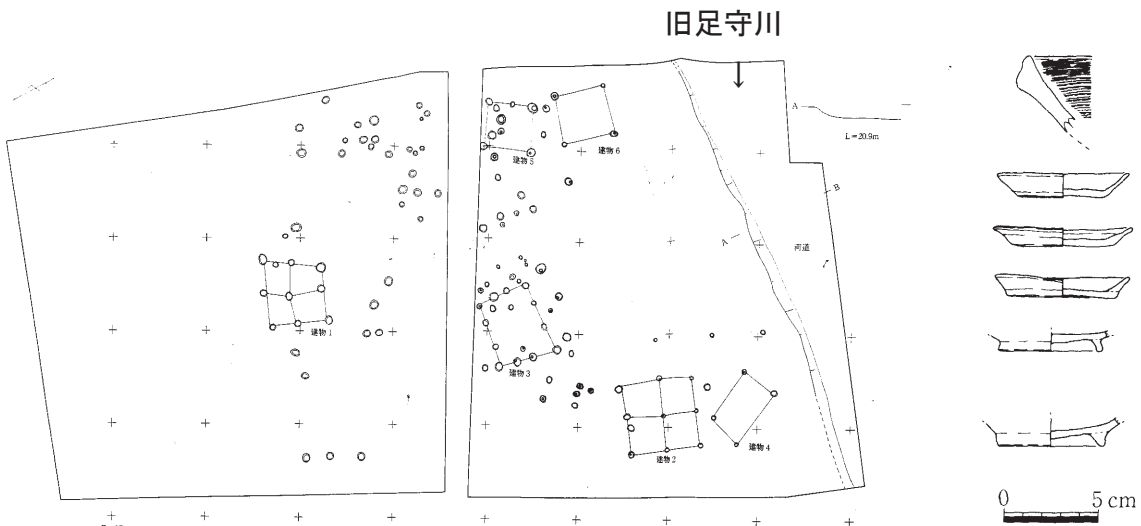
備中国足守庄絵図
(嘉応元年作成 神護寺蔵)



(左の円内拡大)

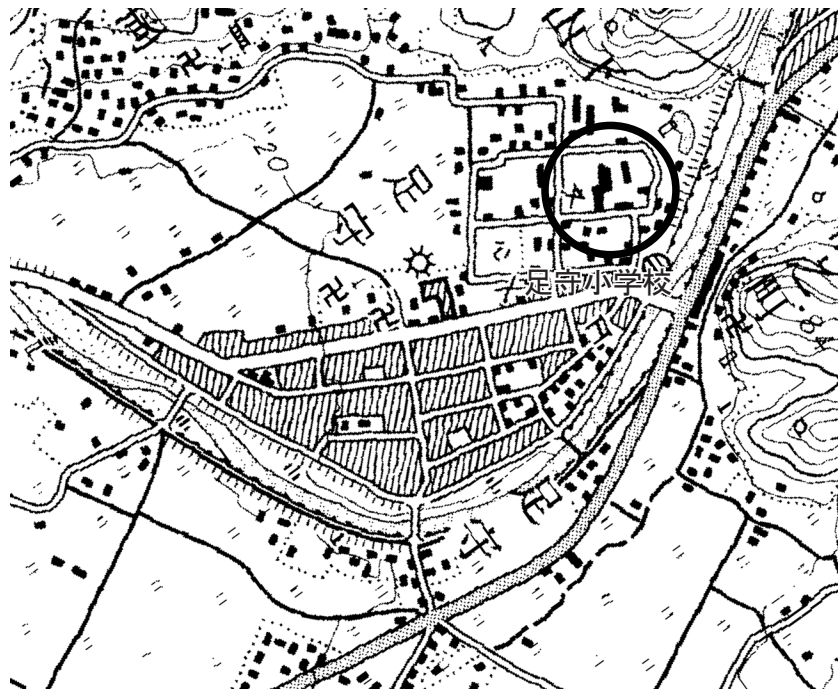


足守川流路の変遷

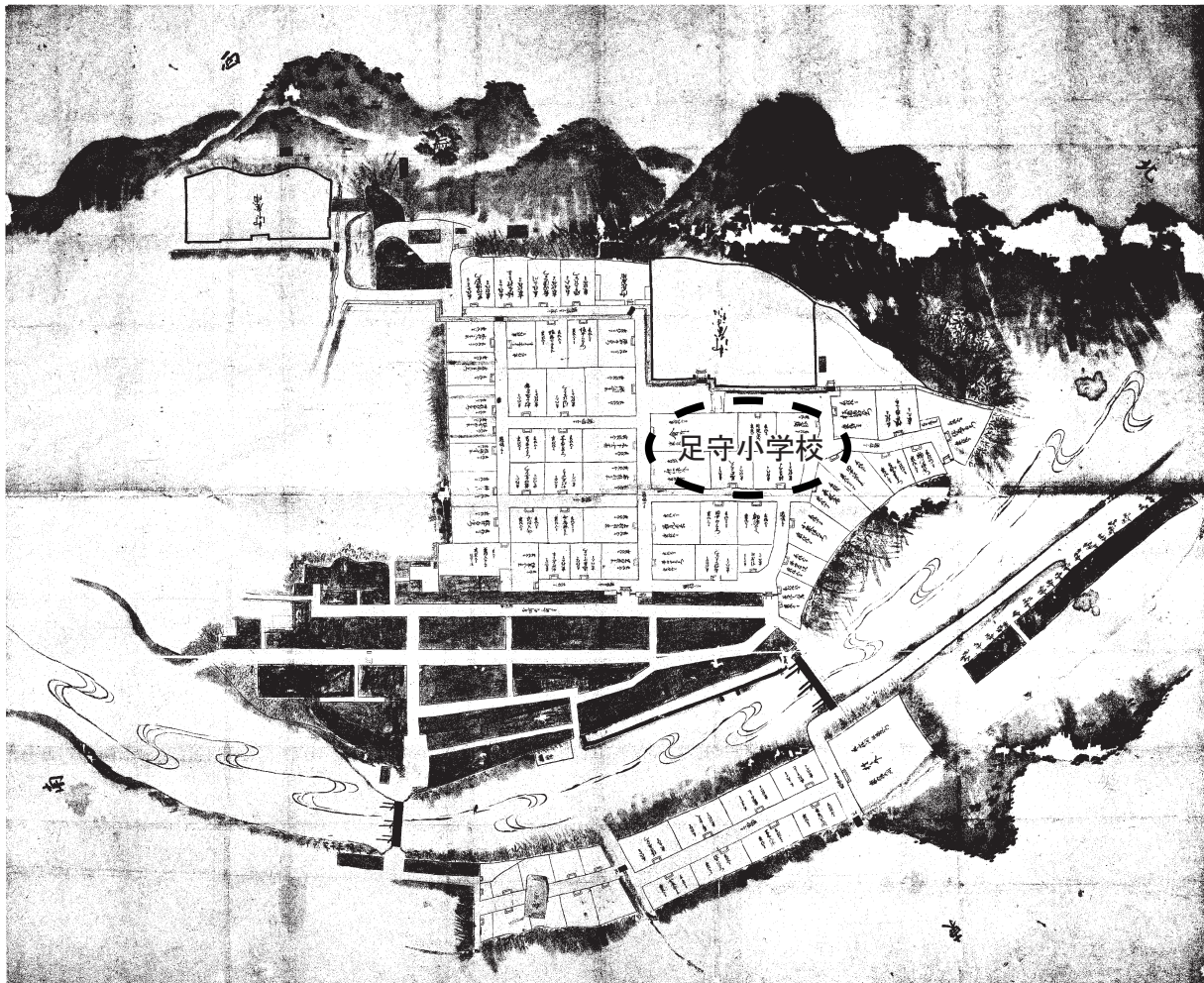


足守小学校の発掘調査 (鎌倉時代)

旧足守川出土の土器



現在の足守陣屋町の街路



陣屋町絵図（延宝七年～貞享三年作成）に見られる足守陣屋町の街路